

## 事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 4 年 3 月 14 日

公表:令和 4 年 3 月 15 日

職員数 7

回収数 7

割合100%

事業所名 児童発達支援らびっと

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	支援児が安心かつ落ち着いた環境で活動に取り組めるよう、適宜環境整備を行っている。現在バリアフリーを必要とした子どもの受け入れはない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	・療育終了後は、清掃や消毒を行っている。 ・利用する子どもによって室内環境を工夫している。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	0%	100%	・初めての実施であるため、今回の集計結果を公表する
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	・今後も必要に応じて積極的に取り入れていく
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	
	10	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	
	11	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	・児発管が作成した個別支援計画書を職員で共有し、子ども一人ひとり、またその日の子どもの状態に合った支援を行っている。
	12	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	
	13	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	・支援に関わったスタッフがその日のうちに必ず記録をつけるようにしている。
	18	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	86%	14%	・利用開始したばかりのため、現時点で計画を見直す必要はない

関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	
	20	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	
	21	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	・集団の中で困っていることを聞き取って支援内容に盛り込んだり、実際に園での様子を見に行ったりして生活全体を支援していけるようにしている
	22	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0%	100%	・利用実績なし。
	23	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	57%	43%	・他事業所と併用して利用している子どもに関しては、様子を聞く等して連携を図ることもある。
	24	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	71%	29%	・コロナ禍であるため行えていないが今後検討する。 ・半数は普段、幼稚園や保育所に通っている子どもたちであるため、各々の園での交流はある。
	25	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0%	100%	
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	・毎回の連絡帳記入や、LINEを使用して写真や動画で療育の様子を送るなどして、子どもの様子を共有している。
保護者への説明責任等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	
	28	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	
	29	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	・保護者とは時期を見て面談を提案している。困りごとや要望がある場合は早い段階で対応するよう努めている。
	30	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%	・検討しているもののコロナ禍であるため、実現できていない。 ・コロナ禍の状況を見ながら検討し、そのような場を作っていく予定。
	31	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	
	32	定期的に会報やホームページを発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	・SNSやホームページで、活動の様子を発信するようにしている。
	33	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	・鍵付き書庫に保管している。
	34	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	

非常時等の対応	35	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	0%	100%	・マニュアルはあるものの、訓練は未実施である。年2回実施予定。 ・早急にマニュアルを職員間で周知、共有する必要がある。
	36	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	0%	100%	・早急に実施するように努める。 ・災害対策、訓練などを職員と子どもで行い、非常事態に備える必要がある。
	37	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	・アセスメントシートに記載欄を設け、把握するようにしている。
	38	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0%	100%	・食事提供を行っていない。 ・該当する子どもがいない。今後必要なときは対応する。
	39	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	29%	72%	・作成中である。今後周知していく。 ・個人的には共有できいなかったため、十分見直し適切な支援に努めたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	29%	72%	・今後研修機会を設けていきたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	29%	72%	・対象児童はいない。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。